

# 行財政

## 道路特定財源

**山崎委員** ①道路特定財源について国会で論議されているが、仮にこの財源が確保できなくなつた場合、既に進められている野方駅の整備や西武線の連続立体交差事業は、どうなるのか。②区長は以前、道路特定財源の使い道について、地方の交流センター、随意契約による工事コストの増大など不適切な出費があると指摘したが、中野区にそのような出費はあるか。

**答** ①財源が確保できないと、事業に十分な経費が投入できない場合もあり、区民が

長年要望している事業が遅れたり中断するなど、区民生活に甚大な影響があると考へている。②特定財源に、更に一般財源を加えて道路整備、都市基盤整備をすることが急務な中、無駄な事業や不適切な経費は全くない。

## 特別区民税

**来住議員** 近年、給与所得の減少と、特別区民税の負担増により、区民の暮らしは困窮している。①区民の給与収入は、10年前と比較して、どう変化しているか。また、20〜30歳代の状況は。②特別区民税の負担状況はどうか。

**答** ①平均給与収入は、10年度以降、毎年減少しており、10年度と19年度の比較では、

30万円余、5・7%の減であり、給与収入100万円台、200万円台に占める20〜30歳代の比率は、それぞれ、54・7%、66・1%である。②17年度決算と19年度決算見込みの比較では、1世帯あたり2万2千円の負担増となる。

## 財政運営

**佐野議員** ①近年、一般会計予算は、900億円前後で推移し、大規模な新規事業の実施には起債による財源確保が必要となる。今後、財調が厳しくなるが、一般財源増へに向けた区の考えは。②人口増を図り、特別区民税の増収に繋げれば一般財源の拡大が可能ではないか。③20年度一般会計予算で義務的経費の構

成比は55・6%、うち扶助費は21%を占め、歳出を圧迫している。偏りのない予算配分を行なうべきでは。

**答** ①事業の見直しなどを徹底し、抑制を図る。②人口の増加により、区民全体の負担力が向上すれば、財政規模拡大に繋がる。③扶助費増加は、財政構造を硬直化させる。PDC Aサイクルにより評価・改善を徹底する。

## 指定管理者制度

**いでい議員** ①指定管理者は、運営部門と管理部門が共同企業体を組むコンソーシアム方式が好ましいと考えられている。区の文化・スポーツ施設の運営には、今後この方式を維持すべきではないか。

②(仮称)区民活動センターの施設管理は、住民団体である運営委員会よりも、実績のある地元管理会社に委託すべきではないか。

**答** ①単独と共同のいずれも可だが、単一事業者が全ての運営ノウハウを持つ場合は別として、大規模な施設の指定管理者は、今後も共同企業体になるものとする。②受託した運営委員会が自ら行うか、他に委託するかは、運営委員会が判断すべきと考える。

**きたごう秀文 (自民)**

- 1 防災対策について
- 2 教育問題について
- 3 環境問題について
- 4 (仮) 南部区民活動センターについて
- 5 その他

**内川 和久 (自民)**

- 1 教育施策について
- 2 中野駅周辺まちづくりについて
- 3 学校教育の充実について
- 4 環境問題対策について
- 5 その他

**篠 国昭 (自民)**

- 1 教育問題について
- 2 中野区次世代育成支援行動計画について
- 3 公会計改革の取り組みについて
- 4 その他

**佐藤 ひろし (無所属)**

- 1 高齢者・障がい者の住宅施策について
- 2 歩行空間等のバリアフリー化について
- 3 区財政について
- 4 その他

**近藤 さえ子 (無所属)**

- 1 犯罪被害者等支援について
- 2 子ども家庭支援センターの役割について
- 3 区民風車について
- 4 その他

**林 まさみ (無所属)**

- 1 環境問題について
- 2 組織について

②(仮称)区民活動センターの施設管理は、住民団体である運営委員会よりも、実績のある地元管理会社に委託すべきではないか。

**答** ①単独と共同のいずれも可だが、単一事業者が全ての運営ノウハウを持つ場合は別として、大規模な施設の指定管理者は、今後も共同企業体になるものとする。②受託した運営委員会が自ら行うか、他に委託するかは、運営委員会が判断すべきと考える。

## 危機管理・防災

### 防災情報告知機能付自販機

**きたごう議員** 災害時の情報提供の手段については防災無線が中心で、視覚的な手段はないのが現状である。他区で導入されている防災情報告知機能の付いた自動販売機は、聴覚障害の方などの情報入手に有効であり、平常時もさまざまな行政情報が提供できる。人の多く集まる防災公園を中心に設置してはどうか。

**答** 近隣区では、練馬区で32台導入されている。設置については多くの所管にまたがるため、まだ結論には至っていないが、飲料水メーカーとの災害協定などを含め、引き続き関係所管と協議、検討していきたいと考える。

### 廃食用油の資源化

**来住議員** 他区では既に家庭廃食用油の回収を実施している。中野区でも区の回収場所を設け、家庭用廃食用油を回収し、再利用する取り組みを検討すべきと考えるがどうか。

**答** 廃食用油の回収は、資源の有効活用などの観点から必要な取り組みと考へている。他の自治体の情報などを収集しながら、検討課題としたい。

### 区民風車

**林議員** ①真に区民のためになる自然エネルギーの確保、二酸化炭素削減の取り組みは推進すべきであるが、今回発表された区民風車の構想は、唐突な印象を感じる。検討にあたり、他の二酸化炭素削減の手段とコスト、効果、区民参加や継続の可能性など、比較したのか。②風車1基を建設する費用はいくらか。

**答** ①10か年計画に基本的方向を示している。事業計画にあたり、費用対効果など多角的に検証を行っている。②国の機関のデータから、5億円と想定している。

## 環境・清掃

### 環境教育

**岡本議員** ①学校の環境教育において、感性が豊かな小学生には、理屈ではなく、太陽光発電などによって実際に発電している量が見え照明に変わるなど、直に触れて学ぶことが重要だ。すべての学校をエコスクールとして、環境教育に取り組むべきではないか。②区民風車は、効率が良く環境への影響が少ない機

種を導入し、啓発のために、区役所1階に発電量などを掲示してはどうか。

**答** ①太陽光発電は順次、全学校に設置する予定である。教育ビジョンの改定時に、エコスクールの発想や環境負荷の軽減について検討したい。②区民風車の安定的な運営のため、立地調査、風況調査を適切に実施する。また、二酸化炭素の削減効果が区民に見えるように工夫していく。

**レアマタル(希少金属)**

**白井議員** 資源としての量が少ない、もしくは産出が難しい鉱物(レアマタル)の回収体制が議論されている。①都が担当課長会を開催したが、その内容は。②携帯電話の回収には、個人情報保護や関連サービスの整備が必要では。③今後の区の取り組みは。

**答** ①回収方法などの検討のため、業界団体や区市町村合同の協議会の設置が提案された。②買い替えの際の販売店での動画やメールの新機種への移行、レアマタルの希少